

とうふねこ座：市川雅子 画

まちがいさがし クイズ

問題

上下の絵を見くらべて、
まちがいを8カ所見つけてください。



応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え(右の絵に○をつける)・②住所・③氏名(ふりがな)・④年齢・⑤電話番号・⑥広報紙の感想、ご意見などを書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり11月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

〒443-8601 旭町17番1号
企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190

応募締切

9月16日(金)当日消印有効

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはラグーナの湯無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は11月初旬に郵送します。

「マヤ稲荷」(大塚町)

むかし、大塚の山のふもとに太郎作という百姓が住んでいた。朝早くから夜遅くまで畑で働いていたが、あやひえのおかゆさえろくに食べられない日があるほど貧しい暮らしをおくっていた。どうしたら金持ちになれるんだと毎日まいにち考えていた。ある朝、ふと家の裏山にある稲荷さまに願かけしてみようと思ひ、野菜やもちを持って稲荷さまへ出かけた。お社まわりをきれいにしはき、ひざまずいて手を合わせ、

「稲荷さま、わしを金持ちにしてください。もし、金持ちにしてくださいしたら、お礼に金の鳥居をつくってさしあげましょー」と約束して帰ってきた。

しばらくして、新城にいるおじから材木屋を始めることにしたので手伝わないかと便りがあり、太郎作はさっさと百姓をやめ、おじのもとへ出かけていった。

材木屋の商売はうまくいき、たちまち金持ちになった。

そんなある日、太郎作は貧乏だった百姓のころ稲荷さまに金持ちにしてくれたら金の鳥居をつくる約束をしたことを思い出した。さっそく大塚に行つたが、稲荷さまに金の鳥居をつくるのはお金がもつたないと思ひ、木の鳥居を建てて帰ってしまった。

そんなことがあってから、材木屋はお客の数が少なくなりだんだんさびれてしまった。あの時、太郎作は金の鳥居を建てなかつたから稲荷さまが怒つたに違いないと思つた。悔やんではみたものすでおそく、かたむいた家運をたてなおすこともできず、また前のような貧乏百姓にもどってしまった。

味耶稲荷は三河大塚駅北西の稲荷山の中腹にあります。江戸時代に馬の飼育が盛んであったので馬屋から転化したとも言われており、遠方から願かけに来る方もみえるそうです。

3月のお祭りには獅子舞、笛、太鼓を奉納し、地元の方々が大勢参拝します。



◆7月号の答え

7月号クイズまちがいさがし
(松島地蔵)の当選者
応募総数59通
正解者54人
当選者 敬称略・50音順
西浦町 大嶋隆之
形原町 小田健人
新井町 清川ゆき
豊岡町 倉橋文字
御幸町 島本奈実
拾石町 出口茉守
本町 遠山梅子
鹿島町 松田恵子
豊岡町 山口瓜子
形原町 渡部清美
おめでとうございませう。賞品は9月初旬に発送します。